



コレクションルームの作品を  
みんなで研究しよう！

日-275  
山口華楊(やまぐち かよう)  
明治32年-昭和59年  
鶏頭の庭(けいとうのにわ)  
昭和52年  
絹本着色 額  
161.5×115.0cm  
第9 回改組日展  
購-1971

N-275  
YAMAGUCHI Kayo  
1899-1984  
*Garden with Cockscombs*  
1977  
Pigment on silk; framed  
161.5 × 115.0 cm  
9th Kaiso Nitten  
p-1971

- かんせい だんわしつ と  
・完成したシートを談話室の「ほんまかファイル」に綴じてください。
- かつどう きろく けいさい ばあい  
・このシートは、ラーニング・プログラムの活動記録に掲載する場合があります。

けんきゅう  
**研究にチャレンジしよう!**

くうそう そうぞう よ かんが か のこ  
空想でも想像でも良いので、みなさまの考えを書き残してください。

せいがい  
(正解はひとつではありません)

ちい こ つ かた こ かんが か のこ  
小さなお子さま連れの方は、お子さまの考えも書き残してください。

さくひん み しつもん こた  
☑ **作品を見て質問に答えよう!**

しよくぶつ なまえ  
□ 1. あなたなら、この植物にどんな名前をつけますか。

おも  
なぜそう思いますか。

しよくぶつ は ばしょ おも  
□ 2. この植物が生えているのは、どんな場所だと思えますか。

おも  
なぜそう思いますか。

え えが さくしゃ きも おも  
□ 3. この絵を描いたときの作者は、どんな気持ちだったと思えますか。

おも  
なぜそう思いますか。

ほか おも ぎもん か  
□ 4. その他にも思ったことや、疑問があれば書いてください。

しつもん おも か  
□ 5. あなたもなにか質問を思いついたら書いてください。

さくひん  
● **作品について**

さくしゃ やまぐち かよう めいじ ねん きょうとし なかぎょうく あぶらのこうじにしき ゆうぜん しよくにん  
作者の山口華楊は、明治32(1899)年に、京都市中京区油小路錦で友禅の職人をして  
いた山口安之助・なを夫妻の二男として生まれます。幼い頃より粘土や筆で動物を写  
すことを好み、一貫して写生に基づいた動物・鳥・樹・花の美を描き続けました。作品の  
主眼である「鶏頭」は、ヒユ科に属する一年草のことで、学名にあるCelosiaは燃焼とい  
う意味のギリシャ語が語源です。本作に描かれているのは鶏冠鶏頭と呼ばれ、中国で  
は古くから立身出世を意味する画題として人気がありました。鶏頭の種類といわれる  
野鶏頭はインドや熱帯アジアが原産とされ、日本では奈良時代に食用・薬用・染料とし  
て渡来したものが韓藍と呼ばれ、『万葉集』の中には韓藍のことを詠んだ歌が四首残さ  
れています。江戸時代までは食用として栽培されていたものもありますが、多くは鑑賞  
の対象として長く親しまれ続けています。鶏頭について調べれば調べるほど、この作品  
について考えることが楽しくなります。